



建築設備技術遺産

認定第 4 号 TOTO ミュージアム(旧:TOTO 歴史資料館)所蔵の衛生器具等

管理者:TOTO ミュージアム(旧:TOTO 歴史資料館)

日本における衛生陶器の製造は、1917 年(大正 6 年)に東洋陶器(現 TOTO)が創立され始まった。以降、現在に至るまで、日本独自の衛生陶器の開発・製造に取り組み、数多くの商品が発表され普及してきた。現在では、日本の衛生陶器の性能および製造技術は世界のトップ水準になっている。

TOTO ミュージアムには、開発初期のものから現在にいたるまでの便器ほか衛生器具類が多数展示され、また所蔵されている。その中から、平成 24 年度建築設備技術遺産(衛生領域)として歴史的価値があると思われる以下の衛生器具類を認定した。

製品に関連した製造図面およびパンフレット類についても貴重な資料であることから一式として認定する。

① 腰掛式サイホンゼット便器(C38)(図面、パンフレットなど含む)

我が国で初めて商品化された高級便器(大きい座面と広い水たまり面を確保し、洗浄性能確保のためのサイホンゼット式を利用するなどの複雑な構造に対応した技術)

② ストール小便器(U25)(図面、パンフレットなど含む)

初期のストール型小便器として商品化された大型の陶器製器具(高さ 1,230mm ある大型陶器製品の製造技術と初期の小便器として歴史的価値)

③ 手洗い付きロータンク(S161)(図面、パンフレットなど含む)

わが国独特の器具である手洗い付きロータンクの初代の製品

④ ウォシュレット G(TCF400、401)(図面、パンフレットなど含む)

国産初の温水洗浄便座である初代ウォシュレット

⑤ そで付洗面器(L70)(図面、パンフレットなど含む)

衛生陶器の代表的製品である壁掛け洗面器の中のそで付洗面器の初期の製品



腰掛式サイホンゼット便器



ストール小便器



手洗い付きロータンク



ウォシュレット G



そで付洗面器